職 務 経 歴 書

2024年3月29日現在

氏名　前川 亮

■職務要約

東京工業大学では知覚情報処理の研究室に所属し，人の視覚系の研究を行いました。その後，情報通信研究機構（NICT）に所属し，fMRIを用いた脳活動計測を行いました。その後，追手門学院大学を経て，現所属である広島大学においてもEEGやfMRIを用いた脳活動計測および心理物理実験を用いた研究を行っています。研究の中で，EEGや生理信号，眼球運動などの解析を行ってきました。また，簡単なスマートフォンアプリを用いた心理実験を行ったことがあります。また，機械学習についても単純な解析を行った経験があります。

■活かせる経験・知識・技術

・Matlab

・Python（簡単な機械学習）

・心理実験用スマートフォンアプリの作成

・EEG, fMRI, 生理信号の解析

■職務経歴

|  |
| --- |
| 研究員 |
| 2019年7月～現在 ／ 広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター | | 役割 |
| 【業務内容】  内受容感覚処理の研究  ・fMRI, EEG, 生理信号（ECG, SCR, PPG等）の計測  ・スマートウォッチとスマートフォンを用いた簡単な内受容測定アプリの開発  ・MEGデータのSVMによる分類機の作成 | | 研究員 |
| 2016年4月～2019年6月 ／追手門学院大学 心理学部 | | 規模／役割 |
| 【業務内容】  意思決定の研究・内受容感覚処理の研究・学生の指導  ・眼球運動計測，生理信号計測  ・まばたきや心拍に同期した刺激呈示プログラムの作成  ・簡単なニューラルネットによる感情分類機の作成 | | 研究員 |
| 2014年4月～2016年3月 ／ 情報通信研究機構（NICT） 脳情報通信融合研究センター | | 規模／役割 |
| 【業務内容】  視覚情報処理および感情の研究  ・fMRIの計測  ・スマートフォンを用いた心理実験アプリの開発 | | 研究員 |

■学位論文

【学士論文】　「ヘッドポインティングの正確さに与える垂直視差の影響」

2008.3　東京工業大学 工学部 情報工学科

【修士論文】　「垂直視差が頭部方向の制御に与える影響」

2010.3　東京工業大学 大学院総合理工学研究科 物理情報システム専攻

【博士論文】 「頭部方向の制御における両眼視差の役割に関する研究」

2015.12 東京工業大学 大学院総合理工学研究科 物理情報システム専攻

■論文

前川亮, & 金子寛彦. (2014). 頭部ポインティングにおける両眼視差の影響. Vision, 26(3), 109-121. doi:10.24636/vision.26.3\_109

Maekawa, T., & Kaneko, H. (2015). Does Changing Vertical Disparity Induce Horizontal Head Movement? PLOS ONE, 10(9), e0137483. doi:10.1371/journal.pone.0137483

Maekawa, T., Anderson, S. J., de Brecht, M., & Yamagishi, N. (2018). The effect of mood state on visual search times for detecting a target in noise: An application of smartphone technology. PLOS ONE, 13(4), e0195865. doi:10.1371/journal.pone.0195865

前川亮, & 乾敏郎. (2019). 瞬目の模倣が他者の印象に与える影響. 認知心理学研究, 16(2), 15-24. doi:10.5265/jcogpsy.16.15

Toru Maekawa, Takafumi Sasaoka, Toshio Inui, Alan S. R. Fermin, Shigeto Yamawaki (in press). Heart rate and insula activity increase in response to music in individuals with high interoceptive sensitivity. PLoS ONE. doi:10.1371/journal.pone.0299091

■受賞

2019年9月: 公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞「webカメラによる表情筋活動推定を用いた体現的シミュレーション仮説の検討」(発表者: 前川亮、菅井愛琴、乾敏郎)

2020年9月: 公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞「内受容感覚の個人差と音楽聴取時の心拍変動の関係」(発表者: 前川亮、笹岡貴史、乾敏郎)

2022年9月: 公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞「自覚ストレスと内受容感覚精度の関係―心拍弁別課題を用いた検討―」(発表者: 前川亮、笹岡貴史)

2023年10月: 公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞「1ヶ月の内受容感覚の変化がストレス負荷時の自律神経・脳波に与える影響」(発表者: 前川亮、笹岡貴史)

以上